

じんけん
人権
～みんなが
幸せになるために～
益城町人権・同和教育推進協議会

Vol.528 志賀哲太郎から学ぶ豊かな人権感覚

益 城町には、台湾で子どもたちの教育に尽力した志賀哲太郎という偉人がいます。

今から160年前、津森で生まれた哲太郎は、幼少期から学業に励み、東京で法律を学びました。新聞記者や小学校教員などを経て明治29(1896)年に台湾に渡り、代用教員として大甲地区の公学校に勤務しました。

当時の台湾では教育の重要性が理解されておらず、多くの子どもたちが学校に通っていませんでした。そこで哲太郎は、子どもたちに学用品を買い与え、学費を補助し、病気の子どもには家庭訪問で見舞うなど献身的な支援を行い、さらに、法律の知識を生かし、地域住民の相談相手としても活動しました。

このような努力と誠意は実を結び、地域の就学率は向上し、哲太郎の指導を受けた多くの生徒たちが、台湾の各界で活躍する人材へと成長していきました。

哲太郎が台湾の人々の心を動かすことができた理由は何でしょうか？

当時の台湾は日本の統治下にあり、日本人教師は軍服姿で教壇に立っていました。また、台

湾には多様な民族が共存していました。

そのような状況の中、哲太郎は一人の人間として台湾の人々と理解し合うために、威圧的な軍服ではなく着物姿で教壇に立ちました。子どもたちに対して、帽子をとって丁寧にお辞儀をするなど、同じ目線での交流を心掛けました。さらに台湾の多民族性を理解し、一人ひとりの事情に寄り添って相談に応じました。

このように、誰に対しても壁を作らず、一人の人間として誠実に接し、相互理解を深めながら教育に情熱を注いだ哲太郎の功績は、今日の多文化共生社会においても学ぶべきことが多くあります。

志賀哲太郎の豊かな人権感覚は、100年の時を経て、益城町と大甲区との友好交流協定締結の架け橋となりました。



当時の大甲公学校での授業風景。哲太郎は教え子たちをわが子のように愛し、就職紹介も熱心に行うなど、子どもたちの成長のために心血を注ぎました



防災行政無線

防災行政無線で放送された内容が電話で確認できます。
自動応答電話 ☎ 286-0888

安全×安心

◆かしこい消費者
格安より高いものはない？

「格安料金」、「業界最安値」などの広告表示を目にする機会が多くありますが、実際の依頼時にさまざまな理由を付けられ、高額請求されるトラブルが後を絶ちません。

■甘い話には裏がある

・極端な格安料金の広告には要注意です。安さだけに惑わされず、複数の業者から見積もりを取るなど、適切な相場を確認しましょう。
・契約や支払いを急かす業者にも要注意。十分に検討する時間を取り、不要な契約は断る、請求の即時支払いは避けるなど、納得できてから判断しましょう。
・訪問販売などの場合は、クーリングオフ制度を活用できるケースがあります。
・高額請求などのトラブルに遭った場合は、消費生活相談室(本紙32ページカレンダーに記載)にご相談ください。

図 御船警察署
危機管理課
☎ 286・2110

令和7年 町内の
事故・事件の発生状況

事故・犯罪区分	3月中	累計
人身事故	0	9
物損事故	55	189
空き巣	0	0
自販機狙い	0	0
万引き	1	3
オートバイ盗	0	0
自転車盗	0	0
車上狙い	1	2

◆防火と救急
電子レンジ火災にご用心

どの家庭にもある便利な電子レンジ。しかし、誤った使い方をするとたちまち火災の原因になり得ます。

■意外と知らない電子レンジの発火原因

・次の食材は温めすぎると、焦げる、破裂するなどして火災の原因になります。焦げやすい食材：イモ類(サツマイモ・ジャガイモ・サトイモ)、ニンジン、カボチャ、にんにく、中華まん など
・破裂しやすい食材：卵、トマト、皮付きウインナー、たらこ、イカ など
・アルミホイルなど金属製のものを温めると、庫内で電磁波が放射され、火花が散るなど大変危険です。
・食品カスや油汚れを放置するとそれに引火して火災の原因になることがあります。



図 益城西原消防署
☎ 286・2119

令和7年
町内の火災等発生状況

発生区分	3月中	累計
建物	0	3
車両	0	0
林野	0	0
その他	0	0
警戒出動	2	5
救急出動	145	476
救助出動	1	2

益城の 文芸

短歌

メール(mashiki890@gmail.com)、はがきで役場広報係に送ってください。締切は毎月10日(必着)。

道の端に警戒するか黒猫の眼ギラギラ吾
を見据える 安永 守住 孝子
路のとう菜花の原にいやされて心爽やか
春をみる 馬水 増田 訓子
外輪に野焼きのほむらひろがりて焼けあ
と踏めば春の音する 木山 赤城 香織
発表日ドキドキ止まらぬ時長し弾みし孫
の声届くまで 木山 本田 龍子
茜雲赤井城址は霧の上川辺の桜蕾膨らむ
惣領 甲斐 道夫
思い出にいたくなかったこの道に花咲き
みだれ川には鳥が 広崎 大原 郁
満開の桜の下で久しぶり心うれしく弾む
足 広崎 辻 恵美子
義妹よ「お元気ですか」越しゆきし空の家
寂しあなたを想う 惣領 島田 廣子
富仙院やぶ椿さき春そこに散歩みちには
小さき童 赤井 米澤 さわ
美しき刺ある花は咲き乱れ知恵ある鳥は
寄りつきもせず 赤井 増岡 伸禧
※末武先生は都合により、今回の選歌をお休みして
います。

俳句 川柳 小春 選

瓶に挿す絵筆十本山笑ふ 熊本市 境 眞木子
喜びをとどこめているチューリップ 広崎 大原 郁
花ふぶき心のしみのさらに濃く 安永 福山 友子
ジャンプしてたんぽぽ飛ばす通学路 古閑 今村 恒心
春夕べ人肌色の阿蘇の峰 木山 本田 龍子
仏壇に桜の造花桜餅 広崎 辻 恵美子
よう来たな母の一言懐かしい 木山 鎌田 隆子
雷に勝てず猛犬小屋の奥 惣領 野宮 逸吉
新学期花びら運ぶランドセル 惣領 野々口トミニ
お悔やみ欄我が身の歳とつい比べ 赤井 増岡 伸禧
※4月号に掲載した境眞木子さんの句に誤りがありました。
た。正しくは次の通りです。おわびして訂正します。
自づからひかるギヤマン春浅し 熊本市 境 眞木子